

4 ダチョウの飼育や博物館を始めたきっかけ、見どころについてインタビューしました！



当ファームは、コンクリート会社の新規事業として始め、設立20年を迎えます。肉・卵・化粧品などの商品を通してだけでなく、ダチョウの魅力を多くのかたに知ってもらうため、博物館をオープンしました。「見る」「聴ける」「触れる」「乗れる」展示があり、ダチョウについて詳しくなくても楽しめる施設になっております。ぜひ、お越しください。

もともと飼育などを行っている会社が始めたわけではないんですね。驚きです！



美里オーストリッチファームには、ダチョウが210羽（取材時）飼育されているよ。博物館には、はく製や標本のほか、卵に乗ることができるし、展示物を触ることもできて、とっても楽しかった。皆さんも、ぜひお出かけしてみてくださいね♪



5 他の生徒の社会体験チャレンジを撮影しました！



飲食店や保育園、学校や役場などでさまざまな社会体験チャレンジを行っていました。とても貴重な経験です。



社会体験チャレンジ事業をして、思ったこと・感じたこと

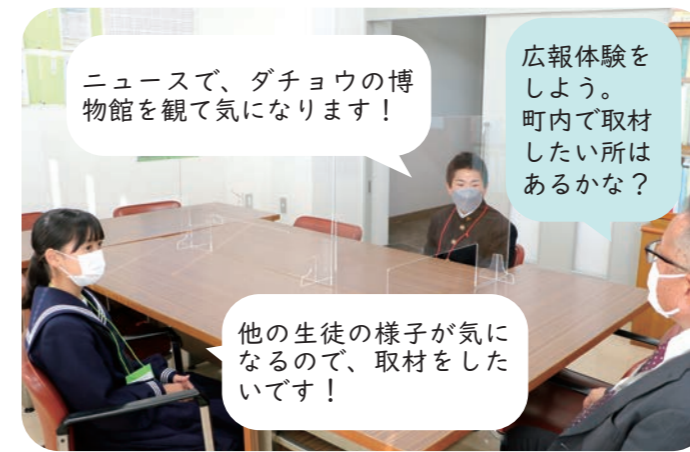


この事業を通して、お仕事の楽しさや大変さが分かりました。他の生徒の活動の様子も撮れてよかったです。取材に協力いただいた皆さん、どうもありがとうございました。とっても楽しかったです。

カメラを持って、色々なところに行けて楽しかったです。枚数を重ねるごとに、写真がうまくなった気がします。まだ、この仕事に就きたいという夢は決まっていますが、とてもいい経験ができました。



広報の裏側、取材内容が決まるまで…



ニュースで、ダチョウの博物館を観て気になります！

広報体験をしよう。町内で取材したい所はあるかな？

他の生徒の様子が気になるので、取材をしたいです！

11月10日から11日の2日間、町内の事業所で、美里中学校1年生が、社会体験チャレンジ事業を行いました。この事業は、進路などを選択するうえで必要な教育の環境として、実施されています。役場には、2名の生徒が訪れ、事業所への取材や他の生徒の様子を撮影し、広報の作成を体験しました。

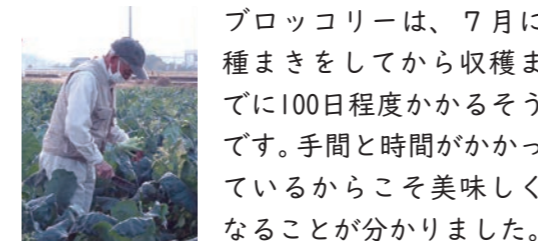
私たちが作成しました！



1 まずは、撮影の許可をもらうために電話！その後は、広報のレイアウト作りです。

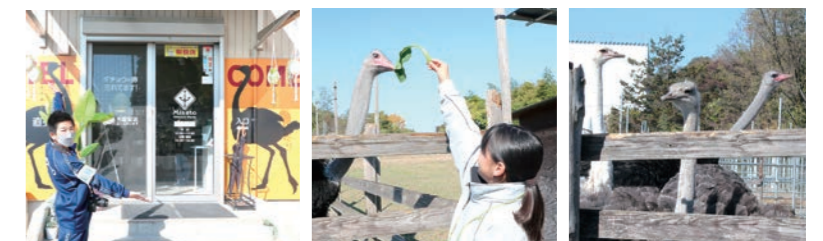


2 カメラを持って取材先へ！1日目は（有）みのりで撮影しました。



ブロッコリーは、7月に種まきをしてから収穫までに100日程度かかるそうです。手間と時間がかかっているからこそ美味しくなることが分かりました。

3 2日目の取材先は、美里オーストリッチファームです。ふれあいエリアと博物館の見学をしました。



皆さまのご来場、お待ちしております♡

『ダチョウの全身骨格標本は、約1年半かけて制作されたそうです。』

写真：スタッフの皆さん

見るだけでなく、触ることもできるよ！

卵に乗っても割れないよ！